



鉄道友の会 選定 2019年 島秀雄記念優秀著作賞決定

■ 単行本部門（2件）

- ・久保ヒデキ「定山溪鉄道」北海道新聞社(2018)
- ・風間克美「地方私鉄 1960年代の回想」OFFICE NATORI(2018)

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・山本直弘「駅ナンバリング考」（交友社『鉄道ファン』2017年12月号～2018年3月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・「全国蒸気機関車配置表」（イカロス出版）の出版に対して

鉄道友の会(会長・須田 寛、会員約 3,000 名)は、島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会(選考委員長・大賀 寿郎)による選考のもと、2019年島 秀雄記念優秀著作賞として、上記の単行本部門2件、定期刊行物部門1件、特別部門1件の合計4件を選定することに決定いたしました。

なお、贈呈式は、2019年12月14日(土)に都内で予定しています。

賞の趣旨、選定対象の解説、選定理由などについては、別紙をご覧ください。

2019年 島 秀雄記念優秀著作賞選定対象の解説・選定理由

■単行本部門（2件）

- ・久保ヒデキ「定山溪鉄道」北海道新聞社(2018)
- ・風間克美「地方私鉄 1960年代の回想」OFFICE NATORI(2018)

■定期刊行物部門（1件）

- ・山本直弘「駅ナンバリング考」（交友社『鉄道ファン』2017年12月号～2018年3月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「全国蒸気機関車配置表」（イカロス出版）の出版に対して

■単行本部門（2件）

- ・久保ヒデキ「定山溪鉄道」北海道新聞社(2018)

本書は、大正7年の開業から昭和44年の廃止に至るまで、約半世紀にわたって札幌市民や観光客の足として利用された定山溪鉄道の歴史をまとめた書籍です。廃止後すでに半世紀が経って定山溪鉄道を知る人も少なくなってしまうしましたが、本書では、地元の強みを活かして貴重な古写真を発掘するとともに、モノクロ写真のカラー化によってかつての姿を鮮やかによみがえらせ、さらに航空写真によって当時の痕跡を探し出すなど、わかり易い内容となっています。モノクロ写真の着色化は意見が分かれるところですが、往時を知らない世代でもその存在が身近に感じられるようにした編集上の試みとして評価されます。地方らしさが随所に感じられる出版物として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

- ・風間克美「地方私鉄 1960年代の回想」OFFICE NATORI(2018)

本書は、1960年代の全国100路線以上の地方私鉄を訪ね歩き、車両のみならず鉄道をめぐる人々の表情や、駅、施設などの情景を、心のこもる生き生きとしたカメラアイで写し撮った写真集です。これまでの記録の多くが「車両写真」中心である中で、一歩ひいて周囲の景観や生活を画面に取り込んだ写真は、時代の空気感を感じさせ、鉄道が日常生活と共にあった地域や時代を後世に伝える記録としても価値があります。また、ベテラン編集者の手慣れた手法により質の高い写真集に仕上がっており、個人のWebサイトから出発して出版に至った経緯や、老舗の鉄道出版社を発売元とすることによって、より多くの読者に普及させたことなどを高く評価し、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■定期刊行物部門（1件）

- ・山本直弘「駅ナンバリング考」（交友社『鉄道ファン』2017年12月号～2018年3月号掲載）

近年、外国人観光客の増加に対応するため、あちこちの駅にナンバリングが行われるようになりましたが、本作は著者が自らの目で確かめながら、会社や路線ごとの規則性を帰納法的に推察してまとめた連載です。こうした帰納法的な手法は、まさに鉄道趣味者の原点とも言えるもので、単にその規則性を推察するだけではなく、各鉄道会社や路線の事情や背景についても考察され、興味深い内容となっています。これらの知識に基づいて、外国の駅ナンバリングの情報や、独自の提案など、さらに考察を深めることに期待したいと思います。鉄道趣味者らしい視点と探求心によって生み出された著作として、島秀雄記念優秀著作賞に選定しました。

■特別部門（1件）

- ・「全国蒸気機関車配置表」（イカロス出版）の出版に対して

本書は、昭和6年、昭和13年、昭和19年、昭和24年、昭和30年、昭和34年、昭和44年の蒸気機関車配置表を復刻し、全盛時代から戦中戦後を経て衰退するまでの蒸気機関車について解説した書籍です。これまでの蒸気機関車史は、形式別にその歴史をたどったものが定番でしたが、本書では時代を区切ってその時代の全国の蒸気機関車の姿を明かにした点に特徴があります。また、単なる資料の復刻にとどまらず、巻末で年代ごとに各鉄道管理局・支社ごとの特徴について詳細な解説を加えています。一次資料が散逸する中で、復刻と解説によって貴重な資料を発掘し、後世に伝えた出版社の努力を高く評価し、島秀雄記念優秀著作賞特別部門に選定しました。

島 秀雄記念優秀著作賞とは

島 秀雄記念優秀著作賞は、毎年 1 回、鉄道分野に関する優れた著作物または著作物に関わる功績を選定し、鉄道および鉄道文化の発展に寄与することを目的として、2008 年に新設された賞です(今回は第 12 回目となります)。

賞の名称は、鉄道友の会初代会長で東海道新幹線の実現に功績のあった島 秀雄氏(1901～1998)が、会の発展に尽くされた功績を永久に記念し、後進にとって励みとなる賞にするため、ご遺族の了解をいただいて、そのお名前を冠することとしたものです。

賞の部門は、以下の通りです。

- 1) 単行本部門…… 書籍の中から優秀な作品を選定します
- 2) 定期刊行物部門……定期刊行物に掲載された著作物の中から優秀な作品を選定します。
- 3) 特別部門…… 単行本や定期刊行物以外の著作物で選考委員会が特に認めるもの、または著作物の企画、複製、展示、頒布、その他著作物に関わる功績を選定します。

賞の候補は、過去 3 年間(今年は 2016 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日まで)に発行された著作物(日付は、単行本、定期刊行物とも当該著作物に記載された年月日を基準)を対象としました。なお、著作者は、鉄道友の会会員に限りません。

賞の選考にあたって、鉄道友の会に島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会を組織しました。賞のうち、単行本部門と定期刊行物部門は、鉄道友の会会員から推薦を行い、選考委員会を選定いたしました。また、特別部門の推薦および選定は、選考委員会が行いました。

なお、今回の島 秀雄記念優秀著作賞選考委員会は、鉄道関係の著作物に精通した鉄道友の会会員 10 名(委員長・大賀寿郎)で構成しました。また、今回の候補の推薦は、2019 年 1 月より推薦受付を開始し、2019 年 3 月 29 日(金)に締切り、単行本部門 20 作品、定期刊行物部門 8 作品が推薦されました。

添付資料一覧 (併せてご覧ください)

- ・鉄道友の会のご紹介
- ・過去の選定作品・対象一覧

本件につきましてのお問い合わせは、下記宛にお願いいたします。

〒102-0074 東京都千代田区九段南 4 丁目 7-16 ヒューリック市ヶ谷ビル 3 階 鉄 道 友 の 会 (本部事務局) 担当：鹿山、小野田 Tel. & Fax. 03-5215-0305 URL http://www.jrc.gr.jp/

<添付資料>

第1回（2008年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 齋藤 晃「蒸気機関車 200 年史」NTT 出版
 - ・ 関田 克孝「のりもの絵本－木村貞男の世界－」フレーベル館
- 定期刊行物部門（3件）
 - ・ 江原 光昭「京成電軌の四輪単車を再考する」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年3月増刊号掲載）
 - ・ 小西 純一「余部橋梁」
（交友社『鉄道ファン』2007年7月号／8月号掲載）
 - ・ 名鉄資料館「知られざる名鉄電車史」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2007年7月号／8月号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 鉄道史資料保存会（会報「鉄道史料」の継続出版に対して）

第2回（2009年）選定

- 単行本部門（3件）
 - ・ 長船 友則「山陽鉄道物語」JTB パブリッシング
 - ・ 湯口 徹「日本の蒸気自動車」ネコ・パブリッシング
 - ・ 河田 耕一「鉄道風景 30 題」機芸出版社
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 澤内 一晃「東京市の静脈物流と私有貨車」
（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2008年1月増刊号掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 田部井 康修「上州を走ったトラム 伊香保電車」東武博物館

第3回（2010年）選定

- 単行本部門（4件）
 - ・ 和久田 康雄「日本の市内電車」（成山堂書店）
 - ・ 関 崇博「門鉄デフ物語」（ネコ・パブリッシング）
 - ・ 奈良崎 博保「九州を走った汽車・電車」（JTB パブリッシング）
 - ・ 宇都宮 照信「食堂車乗務員物語」（交通新聞社）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 大熊 孝夫「雪国を駆けぬける「スノーラビット」」
（交友社『鉄道ファン』2009年5月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「日本鉄道旅行地図帳の刊行」に対して（新潮社）

第4回（2011年）選定

■単行本部門（3件）

- ・小林 正義「国鉄EF13形」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・安保 彰夫「出石鉄道」ネコ・パブリッシング（2010）
- ・大田 治彦「西鉄電車おもいでアルバム」樞歌書房（2010）

■定期刊行物部門（2件）

- ・初澤 毅「緩衝式車止めの形態と分類」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年7月号～9月号掲載）
- ・堀岡健司「鉄道の掲示と行先標の変遷」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2010年10月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「京阪電鉄百周年に関する著作物」の企画に対して（京阪電気鉄道）

第5回（2012年）選定

■単行本部門（2件）

- ・白土 貞夫「銚子電気鉄道」ネコ・パブリッシング（2011）
- ・三橋 克己、葛 英一、藤本 邦彦「オハ71形の一族」車両史編さん会（2011）

■定期刊行物部門（1件）

- ・渡利 正彦「岐阜地区の進駐軍輸送の実態を探る」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2011年5月号／6月号掲載）

■特別部門（2件）

- ・「機関車表DVD版の制作」（沖田 祐作）に対して
- ・「貨車に関する一連の著作」（吉岡 心平）に対して

第6回（2013年）選定

■単行本部門（4件） ※発行日順

- ・辻村 功「鉄道メカニズム探究」JTBパブリッシング（2012）
- ・鉄道友の会客車気動車研究会「日本の食堂車」ネコ・パブリッシング（2012）
- ・小関 和弘「鉄道の文学誌」日本経済評論社（2012）
- ・鉄道の「知」を探る編集委員会「鉄道の「知」を探る」山川出版社（2012）

■定期刊行物部門（1件）

- ・澤内 一晃、星 良助「北海道の私鉄車両」（鉄道友の会『RAILFAN』2007年8月号～2012年6月号掲載）

■特別部門（1件）

- ・「機関車史研究会の一連の著作」（近藤 一郎）に対して

第7回（2014年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 浦田 慎（監修・貨物鉄道博物館）「貨車車票の歴史」（2013）
- ・ 服部 重敬「名古屋市電」ネコ・パブリッシング（2013）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 斎藤 幹雄「ミャンマーへ行った日本型気動車 2013」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年5月号掲載）
- ・ 北村 拓「西武鉄道の旧型国電研究」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2013年12月増刊号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 「車両側面のイラストによる一連の著作」（片野 正巳）に対して

第8回（2015年）選定

■ 単行本部門（2件） ※発行日順

- ・ 和田 洋「阿房列車」の時代と鉄道」交通新聞社（2014）
- ・ 西 裕之「特撰 森林鉄道情景」講談社（2014）

■ 定期刊行物部門（2件） ※発行日順

- ・ 富井 規雄「都市鉄道直通運転のダイヤを考える」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年6月号掲載）
- ・ 岩成 政和「戦後ディーゼル機関車発達史の論点、争点、疑問点」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2014年7月号掲載）

■ 特別部門（1件）

- ・ 生方 良雄 小田急電鉄に関する一連の著作

第9回（2016年）選定

■ 単行本部門（2件）

- ・ 高木 宏之「国鉄蒸気機関車史」ネコ・パブリッシング（2015）
- ・ 中村 光司「知られざる連合軍専用客車の全貌」JTBパブリッシング（2015）

■ 定期刊行物部門（1件）

- ・ 野元 浩「狭小トンネル用 PS23 形パンタグラフ」（電気車研究会『鉄道ピクトリアル』2015年12月号掲載）

■ 特別部門（2件）

- ・ 「関西の鉄道」ほかの継続出版に対して（関西鉄道研究会）
- ・ 「中国鉄道時刻表」の出版に対して（中国鉄道時刻研究会）

第10回（2017年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 中村尚史「海をわたる機関車」吉川弘文館（2016）
 - ・ 大賀寿郎「路面電車発展史」戎光祥出版（2016）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ フリーランス・プロダクツ「ハイブリッド大全」（交友社『鉄道ファン』2016年1月号掲載）
- 特別部門（3件）
 - ・ 戦後日本の鉄道カラー写真に関する一連の著作に対して（ジェイ・ウォーリー・ヒギンズ）
 - ・ 「昭和天皇御召列車全記録」の編集に対して（新潮社日本鉄道旅行地図帳編集部）
 - ・ 「置戸森林鉄道」の出版に対して（橋爪実）

第11回（2018年）選定

- 単行本部門（2件）
 - ・ 名取紀之「紀州鉾山専用軌道」ネコ・パブリッシング（2017）
 - ・ KEMURI PRO. 「阿里山森林鉄道」南軽出版局（2017）
- 定期刊行物部門（1件）
 - ・ 中山嘉彦「日本初の連節車京阪電気鉄道60型・びわこ号」（『レイル』No. 103掲載）
- 特別部門（1件）
 - ・ 「釧路・根室の簡易軌道」（釧路市立博物館）の出版に対して